

参加
無料

2025

うすき人権文化セミナー

7月17日 包括的性教育

生活の中でできる性教育
～からだ・こころ・権利を大切にするヒント～

助産師・看護師・日本思春期学会性教育認定講師
三重野 真美 さん

8月7日 外国人の人権

「やさしい日本語」を知ろう・使おう

早稲田大学大学院 日本語教育研究科 教授
柳田 直美 さん

9月11日 アンコンシャス・バイアス

答えは落語の中にあった

大分県人権問題講師団
進 美保子 さん

9月18日 部落差別問題

私たちの生活から部落差別問題を考える
「今 私たちにできること」

臼杵市部落差別解消推進・社会人権教育指導員
樋口 哲司 さん

10月16日 子どもの人権

知っていますか？養育里親制度

特定非営利活動法人 chields(チーズ)
河野 洋子 さん

11月20日 障がい者の人権

可能性のありか

親子参加
歓迎

陸上パラアスリートNo Limit oita代表
大分立体障がい者陸上競技協会会長
久多良木 隆幸 さん

あなたの感性の磨きの場にいかがですか

all colors are Beautiful!

ご希望の回のみ
参加が可能です

とき 年間6回 18:30～20:00 (受付18:00より)

ところ 臼杵市中央公民館

申込・問合せ 臼杵市中央公民館 0972-63-6444

講演内容
講師プロフィール 申込フォーム



2025年度 うすき 人権文化セミナー



対 象		各学校PTA会員、教職員、一般市民など		場 所	臼杵市中央公民館 (2階 視聴覚室 他)	人権課題
時 間		18:30 ～ 20:00				
No.	期日	学習課題	講 師	内 容 等		
1	7月17日 (木)	生活の中でできる性教育 ～からだ・こころ・権利を 大切にするヒント～	助産師・看護師・日本思 春期学会性教育認定講 師 三重野 真美 さん	世界で行われている包括的性教育とは？ 最近よく言われている「境界線と同意」とは？ こどもを取り巻く大人ができる事 生活の中で始めていけるヒントをワークをしながら考 えていきます。		
2	8月7日 (木)	「やさしい日本語」を知ろ う・使おう	早稲田大学大学院日本 語教育研究科教授 柳田 直美 さん	「やさしい日本語」とは普通の日本語よりも簡単で、 外国人にもわかりやすい日本語のことです。また、子ど もや高齢者、障がいのある人、誰にでも使え、日本語を 話す人に使ってほしい日本語です。 ○普通の日本語を簡単にした「易しい」日本語です。 ○相手を思って使う「優しい」日本語です		
3	9月11日 (木)	答えは落語の中にあった	大分県人権問題講師団 進 美保子 さん	落語を題材に斬新な発想で人権を考えてみません か？ 笑って泣いて心開いて人生をより良く生き活きと楽し みましょう。		
4	9月18日 (木)	私たちの生活から 部落差別問題を考える 「今 私たちにできるこ と」	臼杵市部落差別解消推 進・社会人権教育指導員 樋口 哲司 さん	令和6年の市民意識調査の結果から見える課題をもと に私たちの差別意識や偏見を払拭し、さまざまな差別 問題の解消に向け、今、私たちにできることを考える。		
5	10月16日 (木)	知っていますか？ 養育里親制度	特定非営利活動法人 chields(チーズ) 河野 洋子 さん	養育里親制度は、さまざまな事情で自分の生まれた家 庭を離れて暮らさざるを得ないこどものための制度で す。 養育里親制度をわかりやすく説明します。		
6	【親子参加可 能】 11月20日 (木)	可能性のありか	陸上パラアスリート No Limit Oita 代表 大分立体障がい者陸上競技 協会会長 久多良木 隆幸 さん	発症から闘病・リハビリ生活を乗り越え、現在の日常生 活の様子、パラアスリートとしての自身の生き方、義足 ユーザーの環境についてお話いただきます。大人・子 供関係なく、何か新しいことに挑戦したい！そんな清々 しい気持ちになるセミナーです。		

講師紹介

1	三重野 真美 さん	助産師として病院で勤務していたころから性教育を実施。 その後、3人の子どもたちを育てる中で、1人1人の人権を大切にする包括的性教育と出会う。 学習を進めるうえで、小さな頃から暮らしの中でできる事があると感じ、大分で包括的性教育を知ってもらうため、2021年9月に「性のお話がで きるおへやmami25」を開設。助産師、看護師としての経験を踏まえながら大人向け講座や、親子講座、啓発活動を行っている。
2	柳田 直美 さん	早稲田大学大学院 日本語教育研究科 教授 日本人が外国人と会話するときの言語行動の変化という観点から多文化共生に必要な日本語の話し言葉を研究し、全国各地で多文化 共生に関する講演会等の講師をつとめている。
3	進 美保子 さん	大分市出身。国家資格キャリアコンサルタント/法務省人権擁護委員/大分県人権問題講師団講師/大分県人権啓発講師 転職を繰り返す中で受けた就職支援に救われ、大学や派遣会社での就職支援、大分県設置の施設で企業の採用・定着のサポートをし ていた。 現在は、フリーランスとして企業の人材育成や職業訓練校での再就職支援をしている。再就職支援の中で離職理由に「人権」に関する 問題が多く含まれていることに気づき、あらためて人権学習の重要性を感じた。「人権」という言葉が難しいと感じる方もいらっしゃる ことから、気軽に楽しんで学んでもらえるよう「落語」を取り入れた講演をはじめた。肩の力を抜いて考えることで、行動につながる 気づきや発見と出会えるかも。「答えは落語の中にあった」人生をより豊かにするヒントをお届けします。
4	樋口 哲司 さん	臼杵市部落差別問題解消推進・社会人権教育指導員として臼杵市中央公民館に在籍。 臼杵市部落差別問題解消推進・人権啓発講師団 講師としても活動中。
5	河野 洋子 さん	元大分県こども女性相談支援センター所長・NPO法人chields(チーズ)代表理事・大分大学福祉健康科学部 講師
6	久多良木 隆 幸 さん	1976年生まれ。42歳で急激に手足の指先などから壊死していく「電撃性紫斑病」を発症。両足、両手指を失うも一命を取り留める。1 年半の寝たきりでの闘病生活、手術も幾度となく経験する。その後、内臓系の疾患が落ち着いてからリハビリ病院に転院し、義足での 歩行を獲得。 44歳の時、SNSで義足のランナーを見たのをきっかけに義足でのランニングを始める。 一昨年・昨年の全国障害者スポーツ大会では、「100m走」「ジャベリックスロー」で見事優勝。 自身の競技練習のほかにも、義足で走る為の環境を作る為に2021年6月チームクタラギ(現在のNoLimitOita)を設立。昨年より大 分立体障害者陸上競技協会会長をしている。義足ユーザーさんがもっと気軽に走る事ができる環境を、足を失った子どもたちが走る事 を諦めなくて良い環境を目指し、活動している。

申込・問合せ……臼杵市教育委員会 社会教育課(臼杵市中央公民館内)
TEL 0972-63-6444 FAX 0972-63-6539

